

ライフサポートニュース

住まいと保険を中心に生活全般についてお得な情報や役立つ知識をご紹介します。

え、誰この人!?

こんにちは、快適生活実践会の柴田です。前回このニュースレターをお読みになっていたかがでしたか? 「誰だっけこの人?」とお思いになった方もいらっしゃるのだと思います。そこで、今号では私自身のこと(特にこの会社を引き継いでから)を書いていきます。

私が住まいのことを仕事にして、12年が過ぎました。若き頃は会社の言われることに従い、成績を上げることを中心に考えていました。これはいいですよとお薦めし、ご契約頂いておりました。成績で会社から怒られることはなかったのだ、それなりに何とかなっていたのだと思います。でも、余裕が出来ると余計なことを考えてしまうのです。このお客さんにこれが本当に良いのかな。物件としては、問題ありません。ローンの返済にも問題はありません。でも、この物件が20年・30年経つとどうなるんだろう、20年・30年経つとお客様はどうなっているんだろう、75歳までの住宅ローンを組んで定年後はどうなるんだろう。まだ12年しか営業経験がありませんので、この問題にあたった人はいません。昔のような右肩上がりの高度成長期なら、何か問題が出ても住み替えたり、収入も上がるので返済に問題が生まれませんでした。しかし、今は右肩下がりでのデフレ状況下、停滞の不況下です。物件が良いからといって単純に売ってしまってもいいのだろうか、借りられるから返済できるからと住宅ローンを組んでいいのだろうか。そんな疑問を頂きながらの営業は出来ないと思う反面、会社に所属する限り自分勝手な営業も出来ない。そこで、自分の思うがままに営業するには独立するしかないと思い、この会社に移ってきました。

ここで、あれっと思えます。独立と移ったって違うじゃないと。そうなんです、独立ではありません。この会社は私が創業した会社ではありません。買い取ったわけでもありません。普通、不動産会社として独立する場合、会社を設立し免許を申請し、実際の営業が出来るまで、早くて3ヶ月長くても半年近くの時間がかかります。でも、その時間はありませんでした。早くお客様に役立ちたいという立派な考えでなく、単純に余裕がないのです。会社設立から免許取得まで遊んでいる時間はありませんでした。生活がありましたので。しばらくは暮らしていけると思えます。でも、不動産会社の場合、仕事をしてその日その日に収入は入りません。契約してもお金が

入るのは、早くて一ヵ月後、長いときには半年後になる場合もあります。準備する期間をなるべく短くしないと、収入が入る前に底がついてしまいます。そこで、実際の営業を全て任せてもらえるこの会社に入りました。この会社でなら、自分が思うような営業が出来るのと、すぐに営業が出来ることの二つとも条件を満たしております。全ての経費を自分から出しているのと、毎月固定の給与がある訳ではないので、独立している状態と変わりません。代表ではないので、借金をすることも出来ません。自分の考えが認められるのが先か干上がるのが先かの戦いです。4月準備期間、5月営業開始として動き、おかげ様で今月に入ってから、6月1日に初契約になる1件と4件の契約予定を頂きました。その他にも保険や車などでもお世話をすることが出来、ようやくスタート出来たかなと思っております。

準備期間の4月に参加した提携先である「住まいと保険と資産管理」での研修についてと、お客様にとって何だかよく分からない「快適生活実践会」のことは、次回以降でお話しさせていただきますが、スタートしてからこの二つの感想を簡単にお話します。この会は不動産会社をベースに生活のことを総合的にサポートしていこうという新しい形のコンサル(サポート)を目指しております。この会の二つの核になる商品の反応は、お客様からはあまり良くないです。信用力の無さ(胡散臭さ)からかなと思っています。高額な買物である「住まい」と「保険」では、新しい形を採用するリスクがあるのだと思います。皮肉にも同業者(不動産会社・ハウスメーカー・保険会社・FP)からは高く評価されてるみたいです。あ、問い合わせが来たと喜んでいたら、全く知らない会社から問い合わせだったりすることが多く、知り合いからも参考にさせてくれとか、これが認められてくると脅威になるなど言われたりします。異業種の方とお話しをしますと、「新しいものは世間に認められるまで大変なんだよ、でもそれが認められ火がつくとIT業界みたく一気に爆発するよ、真似をする会社が出てくるけど、認められる前から取り組んでいれば、何歩もリードしていることになるから、挫けず信じて頑張れ」と励まされたりします。先月くらいから依頼も増え、土地・建物・保険・資産まで総合的な依頼もようやく1件入りしました。認められるのが先か資金が尽きるのが先か、これから勝負です。皆様からの応援が頼りです。宜しくお願い致します。柴田 誠